

革新懇の三つの共同目標

- ①経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
- ②憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本をめざします。
- ③日米安保条約をなくし、非同盟・中立の平和な日本をめざします。

鳥取県革新懇ニュース

〒680-0833 鳥取市末広温泉町211誠ビル3階(鳥取県労連気付)
TEL0857-21-3171 FAX0857-21-3172

No.90
2024年
3月10日

二度と戦争の基地にしない 美保基地の歴史から学ぶ

「そらはつながる（低空飛行訓練を考える会）」代表 岡本裕子

「そらはつながる（低空飛行訓練を考える会）」
長尾氏はまず美保基地がなぜこの地に作られどんな役割を果たしたのかに触れました。日中戦争が第二次世界大戦へと拡大する中、「大陸をにらむ日本海側の防衛の拠点」として海軍航空隊の基地として作られた事、その際赤線を引いた一枚の地図を示し住民の立ち退きを迫った事、弓ヶ浜半島は砂地のため島根半島や気高郡の宝木から土を運んだ事、戦争で成人男子がいなかったため多くの婦女子、囚人、徴用工が駆り出された事など驚くことばかりでした。そして4年10か月かけてようやく完成したのはサイパン陥落、グアム陥落と日本軍の敗戦の色濃くなる1943年10月のことでした。戦争末期に日本海側に最初にできた海軍の航空隊美保基地として、特攻隊・水中特攻隊養成の役割を担い、多くの若者が戦場に飛び立ち命を落としました。

そして、戦後は連合軍が進駐、1947年には米軍が美保基地を接收、朝鮮戦争（1950～57年）時にはここから連日のように米軍機が飛び立ち最前線基地の役割を担われました。しかし、住民は滑走路の延長、通信施設造成のための土地収用に結束して反対し、1957年10月ついに米軍は軍事基地の計画撤回と永

久中止を表明。美保基地の米軍基地化をあきらめさせたのです。
1958年に美保基地は日本に返還。アメリカに代わって日本政府がジェット戦闘機の基地化を進めようとしたが、再び反対運動で阻止されました。1972年米子空港滑走路延長の際、防衛省は鳥取県知事に「美保基地にジェット戦闘機は配備しない」と約束。その後も戦闘機の配備を許さず、「輸送基地」「訓練基地」の位置づけは変わっていません。

米軍のジェット戦闘機やオスプレイに給油可能。
③報復攻撃を想定し全国の自衛隊基地の強靱化が図られようとしている。基地とともに島根原発も標的になる危険性。
④重要土地等調査法（土地利用規制法）で住民監視も始まっている。
以上のように、長尾氏は美保基地の歴史と現状について熱く語りました。私たちが勇気づけられたのは、「低空飛行訓練を許さない」は誰もが否定できない当然の要求。アメリカの同盟国でもアメリカに認めさせている。必ず実現できると確信をもって進めてほしい。実態を示し議会や県に要求し続けよう」との言葉でした。
会場からも熱い感想が寄せられました。
○初めて耳にすることはか



講演する長尾氏＝2月11日、鳥取市

○初めて耳にすることはか
りでビックリ。美保基地の歴史を知ることが出来て良かった。
○来て良かった。美保基地建設と闘いの歴史初めて知った。先人の活動感動的です。
○美保基地を米軍に使わせない、住民の運動の歴史を知り感銘を受けた。改めて戦争が身近に迫っていることを実感した。どうにかしなければという思いでいっぱい。

りでビックリ。美保基地の歴史を知ることが出来て良かった。
○来て良かった。美保基地建設と闘いの歴史初めて知った。先人の活動感動的です。
○美保基地を米軍に使わせない、住民の運動の歴史を知り感銘を受けた。改めて戦争が身近に迫っていることを実感した。どうにかしなければという思いでいっぱい。



対米従属状態の日本を告発

米子市で学習講演会 大門実紀史前参議院議員が講演

米子市で2月11日、米子革新懇など21団体の呼びかけで、日本共産党前参議院議員の大門実紀史氏を迎えた憲法学習講演会が開催されました。

大門氏は「日本経済と安保・憲法」をテーマに講演。会場は県立武道館会議室。約80人を超える参加がありました。

大門氏は、日本経済が日米安保条約にしばられ、米企業への市場開放、米国債の購入、日米金利差の維持など、異常な従属状態にあることを告発。また米製兵器の在庫一掃のため爆買いを続け、軍事費2倍化がすすむなかで、暮らしも経済も破壊されていると指摘しました。

また、長期にわたって経済成長が止まった国になった原因は、賃金がまったく上がっていないことだと強調。弱肉強食で企業利益を最優先する新自由主義が、アベノミクス以来押しつけられていると訴えました。岸田首相は当初、「新しい資本主義」などと語ったが、「自分でも何を言っているか分からない」と述べ、大きな笑いを誘いました。そして日本共産党の「経済再生プラン」を紹介。この間積み上がった大企業の

「社会保障を充実してこそ経済は成長する」と訴えました。参加した38人の方がアンケートに答えて、「とっつきにくい経済の話がよく分かった」「ユーモアを交え80分があつという間だった」「社会保障は大きな経済に目からうろこだった」「米国のミサイルを買わず国民生活に使おう」など、感動的な受け止めが寄せられました。

米子市革新懇 事務局長 平井一隆



講演する大門実紀史前参議院議員。2月11日、米子市

3月3日、松江市の松江テルサで島根原発2号機再稼働を止める集会在開かれ、新婦人の仲間呼びかけ参加しました。会場には、次々と参加者が集まり、最終的には500人を超える参加者になったようです。鳥取県からは、見慣れた顔もちらほらとあり、20人くらいが参加していたようでした。原発反対という一致点多くの団体、個人が集まっています。

松江で島根原発2号機再稼働を止める集會 新日本婦人の会鳥取県本部事務局長 田村真弓

も2万4千人いるのに、支援する人は3792人しかいないという事など、事実にもとづく説得力のあるお話でした。松江生協病院の真木高之さんからは、福島原発後の支援がいかに過酷であったか、同じことが島根原発事故で起きたら、多大な犠牲が生じるだろうと訴えがありました。また、目の不自



デモ行進参加者=3月3日、松江市

<映画「雪道」上映会のご案内>

第二次大戦末期、「日本軍慰安婦」として過酷な運命を共に耐え抜いた二人の少女の友情

STORY 一人、編物で暮らしを立てるチョンブンは、まだあの日の記憶から逃れられない。日本の支配下の朝鮮、貧しい家の娘チョンブンは、学校に通う同い年のヨンエがうらやましい。ある日、ヨンエが日本の勤労挺身隊に選ばれて日本に行くことになる。うらやましようにヨンエを見送るチョンブンの前に、一人の男が現れて日本に行きたいのかと尋ねる。夜中に何者かに連れ去られたチョンブンは、列車の中で日本に行ったはずのヨンエと出会う。少女たちは「日本軍慰安婦」として満州に送られた。慰めあい、時には争いながら、厳しい生活に耐えるチョンブんとヨンエ。そんなある日、彼女たちに慰安所を脱出する機会が生まれるが・・・。

東部会場	中部会場	西部会場
3月31日(日)	4月7日(日)	4月6日(土)
①10時~	①10時30分~	①10時30分~
②13時30分~	②13時30分~	②13時30分~
県民ふれあい会館 (5階講義室)	倉吉未来中心 (セミナールーム1)	米子市文化ホール (イベントホール)

入場料: 1,000円(全会場共通) 大学生以下は無料です

